

と き め き

東久留米の男女共同参画情報誌

NO.
57

2016 秋

特集

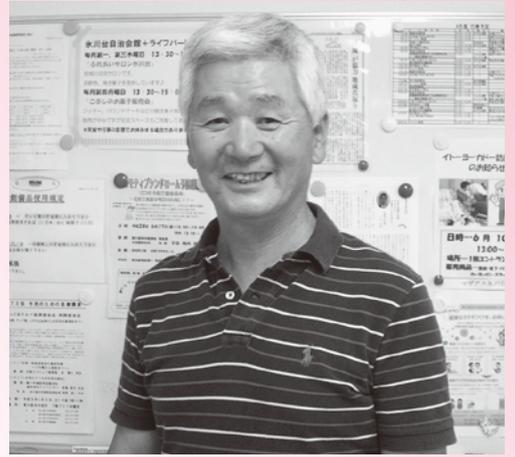
防災と男女共同参画

- ・ 一人ひとりを大切にする防災への備え
 - ・ 多様な視点からの防災
- 〈熊本地震から見えてきたこと〉



Contents

2. と き め き インタビュー
4. 特集 防災と男女共同参画
11. フィフティ・フィフティから



町全体が仲間意識を持つ

老若男女を問わず、明るく元気なまちづくり！

氷川台自治会会長

殿田俊三さん

住民の高齢化が進み、活気を失っていた氷川台自治会を元気で明るい活力のある町にしよう！と、会長として引つ張り続けて7年目。他市・他県からも視察を受けるほどのさまざまな斬新な取り組みを進める殿田俊三さんにお話を伺いました。



秋のバス旅行

氷川台自治会

昭和31年に西武鉄道がこの地を開発し、分譲販売したんです。入居当時は水道がなく、井戸水を汲み上げて入居者と隣接住民に分配をしていました。そして、井戸の管理人が居住していたのが現在の自治会館、井戸があつたのが小山台遊園だったんです。そこで水道組合をつくって水の分配を始めたのが自治会の始まりなんです。

7年前に私が会長に就任したときは自治会館隣の公園一帯は草伸び放題、荒れ放題で、子どもたちの遊び場もなかった。そこで自治会委員有志が集まっていたら、周辺の草取り、掃除から始めたんです。

公園は見違えるようにきれいになり、4年前位から夏休みに限らず、毎日ラジオ体操をやっています。皆勤賞を

ざして、雨が降っても傘をさしてでも、毎日欠かさず参加される高齢者もいます。自分の居場所があるということがお年寄りの生きがいになり、家から外に出てくるようになっていっているんですね。

それと今年はじめて企画したハイキング会に、私が会長になってから6年間、一度も催し物に参加したことがない方まで楽しんでいただけたのは嬉しいことでしたね。

毎年秋にバス旅行も企画実行していますが、昨年は92歳の人が参加して、今年も93歳で元気に参加することが目標と言っている。そういう目標を持つ、ということはずいすいですね。

さまざまな取り組み

自治会には今352世帯、1,000人を超える人が加入しています。会長に

就任して課題は多々ありましたが、まず取り組んだのは、規約の改正、役員が留任して活動を継続すること。それに自治会館の改修と各家庭の実態を把握しておくことでした。

自治会独自で要援護者避難登録の受け付けを始めて、今は登録者が82人。支援隊員62人で支援隊を組織しました。自治会では緊急時ネットワークといって、何かあったときの連絡先とか、飲んでる薬とか病歴とか、個人情報を書いてもらったものを預かって保管しています。それに会員名簿に電話番号の登録もしてもらっています。認知症で徘徊している人を見たときに名前が分かっている人を見たときに名前がばどうしようもないからね。

それと、就任1年後には、資源ゴミの集団回収も始めました。回収による報奨金や、改修して使いやすくなった自治会館の利用料、空き家の庭を借り

て作った農園で収穫した野菜の販売などで得た収入は、会員の目に見えるもの、消火器や防災用品など、地域の財産になるようなものの備蓄に使っています。

住民の皆さんからは「ここまで考えていただいているんだ」「やっぱりここに住んで良かった」という声をたくさんいただいております。でも、自治会としては、まだやるべき事はたくさんあります。

なにしろ高齢化が進んでおりまして、この地区は坂道が多く、公共交通がないので、駅までの道のりに何らかの足を確保したい。それと買い物も、自治会内唯一の雑貨屋さんを閉店してしまつたので、お年寄りの方の要望を聞き、その品物などを、現在売店舗になっている場所ですーパーの訪問販売など

ができないものか、とかね。氷川台自治会では、毎年、三人行事



自治会館内での子育て交流サロン
自治会内外の40名以上が登録

として「餅つき大会」「夏の夕涼み会」「要
援護者の避難訓練」を開催しています。
どのイベントにも200人以上が集まる
いうことは他に類を見ない事だと自負
しています。

水川台では全世帯の約97%が自治会
に加入しています。若い人たちもみ
なイベントに出てきますよ。よく挨拶
もするし。今の若い人たちはやり方
よっては地域にどんどん入って楽し
んでいると思いますよ。

公園に遊びに来ていたお母さんたち
の要望でできた「子育てサロン」では
子どもを遊ばせながらおしゃべりし
たりと、みんな自由な時間を過ごして
います。

僕が会長を引き受けた時も役員には
女性が多かった。今は若い女性も多い
けど夫婦で引き受ける人たちもいま
役員会にはどちらか出られる方が、夫
婦で来ることもある。夫婦で引き受
けてくれていると役員の任期が終わ

もイベントに夫婦で出てくるから、ど
ちらも顔なじみになっていて、みんな
仲間意識ができてくるのが良いです
ね。会長を引き受けた当初は高齢化率
37%でしたが、今は33%に下がって
きています。それだけ若い人が転居し
て来ようになったんですね。子どもが
産まれてもここで遊べるし、子育てサ
ロンもあるし、周りが見てくれるしね。
一番大事なのは人のつながり。子ど
も小さいときから多くの大人たちと
接しながら育っていくというのは大事
なんですよね。

居場所づくり

1970年代の我々の現役時代はま
さしく競争社会を生きてきたわけ
でね。僕も、子育てから何か全
てに任せっきりで。それで、退職して周
りを見たら地域に誰も知り合
いがいない。私自身が居場所を作
らないと将来どうしようもない
と思っただけです。

それで役員を引き受けたけど、当
時の役員は1年交替の輪番制。1
年交替では何もできないわけ
ですよ。やるならやるって、それ
ですぐに規約を改正して、三役
の再選ができるようにした。同
じ考えだった役員も2、3人留
任してもらって会長を続けたら、
会員のみんなが自治会を信用し
だして相談もできるよになっ
た。一緒にやれる仲間

に恵まれたことも大きかったです
ね。そうしてみんなが動けば動
くほど、必要なことがどんど
ん出てくる。自然に発生したニ
ーズに対応していくと上手い
いくんですよ。

それとどの取り組みにも参加を強
要しない、本人の意思を尊重する。
トラブルの種になりそうなのは排
除するということも大切ですよ
ね。人を引っ張っていくにはそう
いう見極めをしないとね。物事は
難しく考えずに、とりあえずは
やってみないと前には進まない
。何事も1歩進まなければ2歩
目はないんだから。1歩進めば
2歩、3歩と進むんですよ。

今自治会を運営している手法も考
え方も、全て現役時代にやって
きたことの延長ですよ。裏付け
があつてやっています。だから
やる方も自信があるわけですよ。
当然成果も上がるし、やりがい
がありますよ。

妻は会長職を2年目も続けてや
ると知ったときに大反対をした
んだ。大変だからとね。だけど
今はもう反対していませんよ。
(夫に)「一日家にいられたら
たまったもんじゃありません
(笑)」

**自治会内の障害者施設や教会と災害
時の支援協定を結ぶなど、地域性を考
えた独自の防災にも取り組まれていま
すが、自治会の一番の強みは会員がみ
んな、知り合つて助け合おうとい
う支え合いの気持ちになつてい
るとです。**

インタビューの帰りに通りで出
会った「かいちよー！」と元気に
手を振る子どもの姿に、みんな
が安心して楽しく暮らせる町
と、それを支えている自治会
の力を感しました。

現役時代のスキルを地域の活
性化に活かし、第二の人生を
生き生きと過ごされる姿が
印象的でした。



東久留米駅北側線路沿いの水川台通りの花壇
水川台自治会会員の皆さんの手できれいな花が植えられ、
通る人々の目を楽ませてくれています。

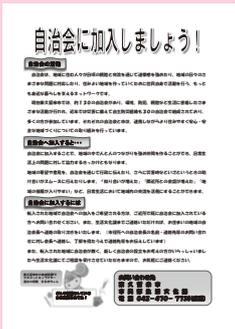
*水川台自治会の活動は東久留米市ホームページ
(<http://www.city.higashikurume.lg.jp/kurashi/kurashi/jichikai/index.html>)のほか、
「東久留米のふれあい情報サイト くるくる」
(<http://kuru-chan.com/>)にも掲載されています。

自治会のご案内

東久留米市には大小約130の自治会が登録されており、全世帯の37.2%が加入しています。市では転入者の方や、自治会に未加入の方に向けて「自治会加入促進リーフレット」を作成し、新たに東久留米市に転入された方には手続きの際に配布を行い、加入促進を図っています。

お住まいの地域に自治会がなく、新しく自治会の設立をお考えの方は、生活文化課にご相談ください。

お問い合わせ 市民部生活文化課 ☎ 042-470-7738 (直通)



防災と男女共同参画

平成 28 年度

フィフティ・フィフティ主催 男女共同参画週間 特別講演

一人ひとりを大切にする防災への備え

～熊本地震から見えてきたこと～

日時：平成 28 年 7 月 3 日（日）

会場：市民プラザホール（東久留米市役所 1 階）

講師：潮谷 義子氏

（学校法人 日本社会事業大学理事長、前熊本県知事）

今回ご講演いただいた潮谷義子氏は、長年、福祉の分野でご活躍されたのち、全国 2 番目の女性県知事として、2 期にわたり熊本県知事を務められました。現在も、お住まいの東久留米市と熊本との間を行き来される中、熊本地震では発災後、すぐに被災地に駆けつけ、復興に携わられました。

そのようなご経験から、少子高齢社会で生きていく私たちの心構え、地域社会の取り組み、行政のあり方など、多様な角度から防災への備えを教えてくださいました。



平成 28 年 4 月 14 日、熊本県熊本地方を震源とする最大震度 7 を観測する地震が発生しました。その後も活断層のずれによる強い揺れが続き、熊本県を中心に死者 49 名、行方不明者 1 名、負傷者 1,738 名、倒壊家屋 145、439 棟平成 28 年 6 月 20 日熊本県災害対策本部発表速報値」という甚大な被害をもたらしました。

多くの被災者の方々が避難生活を余儀なくされ、家屋倒壊の恐怖などから自宅外に避難されるケースもありました。また、この震災の惨状から、地域社会の抱える課題も浮き彫りになりました。

防災への備えは日常から。男女共同参画の視点で問題を見つめ直すことは一人ひとりを大切にする社会につながります。

東久留米市の魅力

東久留米に住み始めて 1 年半が経ちました。駅に降り立ったときに見えた富士山の雄大さに魅かれて居を移しましたが、とても住みやすいまちです。

柳窪の伝統を大切に暮らし、細やかな心配りをされる司書さんがいる図書館、障がいのある方を積極雇用なさっているコミュニケーションセンターに隣接するカフェ、こちらの男女平等推進センターも、男女共同参画関係だけでなくさまざまな種類の本がたくさん並び、つい手に取り読みふけりたくなります。

熊本県知事時代には、高齢者でも読みやすい広報誌作りを心がけていましたが、ここ東久留米市の広報誌は必要な情報が分かりやすく掲載されています。

すね。女性議員が多い印象も受け取ります。また、市役所が休日でも市民が利用できるオープンスペースを設けていることも大変素晴らしい。後ほどお話ししますが、これは災害時とても大切なことです。南沢湧水群や竹林公園を擁する「水とみどりのまち」東久留米、私の夫もコンパクトシティとしての価値を評価し、気に入っています。

ふるさと熊本

「火の国・水の都・森の都」と評される気高くも美しい熊本。世界一のカルデラを有する「阿蘇山」、日本三大名城にも選ばれている「熊本城」など見所がたくさんあります。また、夏目漱石が「森の都」と命名したように、県土の 63% を森林が占めており、湧水地が多く、美味しい水が豊富どころです。熊本市の上水道を流れる水も、ほぼ 100% 地下水でまかなわれています。そんなミネラルウォーターのような上質の水を洗車や入浴にぜひたくに使っている光景も日常茶飯事です。

そんな雄大な自然や多彩な観光地に恵まれたふるさと熊本が、4 月 14 日にマグニチュード 6.5、4 月 16 日には 7.3 という、とてもない大きな地震に襲われました。その後 1,700 回を優に超える余震もあり、予断を許さぬ状況が続いています。熊本県に布田川、日奈久断層が走っていることは知っていましたが、まさかこれほど大きな地震が起こるとはだれも考えておりませんでした。

熊本城の瓦・石垣は崩壊し、在りし

ううちに、子どもたちは次第に愚痴や不平を言わなくなりました。初めは「どこからきたの？」と被災者の方に聞かれても施設からと答えることが出来なかった子が何回か訪ねるうちに「施設から来ています」と堂々と答えるようになっていました。

作文に「ありがとうと言われ、ひとのためにがんばろうと思った」と綴った子もいました。この大きな災害を通して、自己肯定感が高まり、子どもたちは人間的に成長したと感じました。

私も東日本大震災を経験した女性から、災害時には何が必要か声をあげていくことが大切と教わり、実践しました。県外の友人たちに、お米、味噌が欲しいと訴えることで多くの善意が寄せられ、被災者の方に届けることができました。

避難所運営

避難所では平常時の地域社会が凝縮した環境が形成されます。地域の交流が少ない場合、避難所は知らない人が多くなります。家族に障がいや病気があったり、乳幼児がいますと、泣き声や奇声、特有の行動を他の被災者に非難されたり、無理解に苦しむこともあります。あつてはならない人権侵害や差別も起こりがちです。被災者なのに避難所に居場所がない。認知症の方の奇声に耐えられないとの苦情から退所を乞われたり、待つことが困難な発達障がいを持つお子さんの親御さんが、他の方と同様に救援物資の配給に並ぶよう強いられたという事例も聞きました。

避難所にいることが苦痛で、車で過してエコノミー症候群で亡くなるケースもありました。

避難所生活で困った点を3つ挙げてくださいというアンケートでは、睡眠(不眠)、トイレ、プライバシーの確保が挙がっていました。次いでお風呂、という答えでした。それらの課題にどう備えるか。たくさん届く救援物資の管理・整理、大量に発生するペットボトルゴミの処理方法なども検討しておくべきでしょう。

マスコミで被害が大きく報道された益城町には、備蓄しきれないほどの物資が集まった一方で、食べ物がほとんどない避難所もありました。運営管理者がおらず、情報システムが使えなかったために、救援物資を送ってくださった方の善意が必要な方に届かなかつたのです。災害時の避難所運営に長けたプロ級のボランティアがいますから、協定を結び、運営を任せることも大事だと思いました。

特定の方を対象にした福祉避難所・医療避難所と指定避難所の区別の再考も課題のひとつです。熊本県では、震災前に福祉避難所への避難の登録をした方が35,000人ほどおりました。福祉避難所自体が被災してしまったり、先に普通の方が避難されていて、登録された方が避難できなかつたりしました。

住民が自主的に避難所を運営し、成功した例もあります。災害時の状況により、指定避難所ではないところが避難所となることもあります。私は大きな指定避難所だけでなく、個々のニーズに応じた避難所がいくつもあつたほ

うが良いと思います。いずれの場合でも、普段からの結びつきが肝心です。

熊本学園大学は、グラウンドのみが広域避難所に指定されていました。ですが、地域の方々が700人避難されてきた状況に、ホールを開放しました。主に社会福祉学部の学生が実習の経験を活かし、障がいのある方や高齢者の介護にあたりました。大学には医師、看護師、ソーシャルワーカーがおりましたから、専門家は揃っています。事務長が個人的なつてを利用し、必要な物資を集めたり、学生はラインを使い、必要なボランティアを募つたりしました。

また、一時避難所の役割を果たす可能性のある市役所などの庁舎の耐震化は急務です。庁舎の建て替えに対しては、税金は他に使うべきだという意見もあります。災害時、行政機関が被災してしまうと、行政の役割を果たせなくなります。

熊本地震では、5階建ての宇土市役所がねじれるように歪んでしまいました。益城町の庁舎も立入禁止になりました。そうなる、全ての行政機能がストップしてしまい、生活に直結した住民サービスやサポートはできなくなります。災害時に住民のくらしを支えることが不可能な庁舎では困ります。こちら東久留米市役所のように、非常時に住民が駆け込めるオープンなスペースがあることも大切です。

古くて耐震化されていない市立市民病院は患者さんを受け入れられなくなりました。医療機関も同様の対策が必須でしょう。

幸い、今回透析に関しましては協定があり、近県で受け入れてもらうこと

ができました。その移動の際、タクシーが活躍してくれたそうです。新幹線は使えない、高速道路も使えない、一般道もあちこちで通行止めという中で、走行可能な道を選んで患者さんを送送してくださいました。一人ひとりの命が大切にされた、ありがたい実例のひとつです。

災害時の支え合い「自助・共助」

少子高齢社会の災害に備えるために、社会の再構築を行うときがきています。災害時に身を守るのは「自助・互助・共助・公助」。まずは自助が最前提ですが、その役割分担と連携が重要です。

大人たちが災害弱者をどう支えるか、次世代の担い手である子どもたちは見えています。地域社会でそれぞれの役割



潮谷氏の講演風景

を持つことが、災害時に支え合える地域社会への再構築のベースになり、また、その活躍する大人の背中を見ることで、次世代を育てていくと思えます。自分がどうやって助かるか、どうやって隣人を助けるか。何ができるか。常日頃からのつながりが災害時の大きな力となります。

東日本大震災のときの出来事です。ある盲目の方が津波の襲来を予測しながらも、私は一人で逃げることはできない、もう諦めようと思っていたそのとき、一緒に逃げようと近隣の方が声をかけてくれ、生きながらえることができました。その方は「私は家も物も多くの友人も失った。けれど、地域のきずなが残った。」とおっしゃっていたそうです。

男女は、足りないところを補いあい、支えあう関係です。東日本大震災時、宮城県で世帯普及率70%を超える新聞「河北新報」では女性記者が奮闘され、働く女性の視点から被災女性を支援しました。

ライフラインが完全にストップした中で、灯油販売を開始したガソリンスタンドや再開した銭湯の情報などを掲載しました。生きていく上で大事な手段としての情報とは何かを女性たちは知っていました。

同様に「熊本日日新聞」の女性記者たちも、多くのマスメディアが被害の大きさ・悲惨さばかりを報道するなかで、病院やスーパーマーケットの再開や物資の流通に関する情報などを掲載し、今日の命・健康・暮らしを守るために尽力しました。

生物としての性差と、社会的な役割

を担う上での性差を混同しないようにしましょう。今後は、行政の中で女性がより重要なポスト・地位につくことで、女性ならではのいろいろな気づきが活かされていくことを期待しています。

東久留米は人々が求めるやすらぎと自然にあふれています。女性たちが責任ある立場に就き、防災への備えを行うことで、地域住民のきずな・ふれあいを更に深め、東京のベッタタウンとして発展することを願っています。

今回の講演では、男女共同参画の視点に加えて、多様な人々に対する災害時の対応についてのお話がありました。その中でも、地域の新聞では女性記者たちが誌面を通して女性にとつて必要な情報を伝え続けたことなどの実例も挙げられ、災害においては女性の視点が重要であること、女性の活躍の場が設けられるべきであることなどが随所で語られました。

大地震発生の確率が低いと言われてきた熊本で起きた今回の震災に私たちは、災害はどこにいてもだれにとつても他人ごとではないことを実感させられました。災害後に起こる「非日常」の中に「日常」を少しでも多く残せるように、まずはその備えについて、考えさせられる講演でした。

*合計特殊出生率

15〜49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものの

男女共同参画と防災

男女共同参画では、重要なテーマとして「防災」が取り上げられることがよくあります。でも、なぜ男女共同参画で防災なのでしょう。改めて、その「なぜ？」について確認してみましょう。

これまでに起こった、阪神・淡路大震災や東日本大震災などの災害、その防災・復興において、女性の視点が不足していたことによる多くの課題が露呈しました。それらの経験から、それまで女性のニーズが反映されにくかった防災や災害対応の分野に、女性の視点を取り入れることが必要不可欠なことが認識され、取り組みが進められるようになりました。

女性の中には、日頃から自分の暮らす地域の生活に根ざして、子どもや高齢者と関わったり、地域の他の人々のニーズをよく知り、女性だけでなくさまざまな立場の人の課題にも配慮した視点を持つ方も多くいます。

防災・復興の取り組みに男性、女性がともに参画し、多様な視点やニーズを反映することが、災害に強い地域づくりには欠かせないことであり、より良い取り組みにつながるのです。

災害時には、日頃の男女共同参画の課題がより一層顕著に現れます。防災・復興だけでなく、普段から、あらゆる場面に男女、誰もが皆、参画し、課題を解決しておくことが大切です。

*国では平成25年5月31日に「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を作成しています。また、平成27年12月に策定された国の第4次男女共同参画基本計画でも、「男女共同参画の視点に立った防災・復興体制の確立」が強くうたわれています。各地方公共団体でも、これらの指針・計画に基づき、地域防災への取り組みを進めています。

多様な視点からの防災

私たちの地域には多様な人が暮らしています。性別や立場が違えば、必要なものや支援も異なります。ここではそれぞれの立場の人々が災害時に抱える困難や必要な備えについて考えてみましょう。

避難所ではどんな問題が?

従来、防災・災害復興の意思決定や避難所運営などは男性が中心となって進められてきました。しかし過去の多くの災害の経験から、女性や子ども、高齢者などの抱える不安への配慮が不足していると思われるさまざまな問題が浮き彫りになりました。

女性



トイレに行くのも
コワい...

避難所では女性用のトイレが安全な場所に設置されていない、着替えのスペースや女性用洗濯物の干し場所がない、女性用品が受け取りにくいなどの困難を抱えています。DV、性暴力などの被害も報告されています。また、炊事や清掃、洗濯などの負担も女性に集中しがちです。

高齢者

視力・聴力・体力も若い人に比べて衰えています。持病を持つ人も多いです。口腔ケアなど衛生状態を維持することも必要です。不安があっても自分から言い出せず、孤立感や不安感が増します。認知症がある方は徘徊したり声を荒げたりすることもあります。



知り合いがいれば...

男性



本当はソライ...
でも弱音は吐けない

家族を支え、守るのは自分だと、責任を抱え込む、また被災による失業あるいは過労などで追い詰められて不安を抱えることがあります。

授乳したいけど入目が...

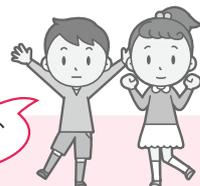
妊産婦・乳児



妊娠中の女性や産後間もないお母さんは、素早く動いたり重いものを持ちたりすることはできません。衛生面やプライバシーへの配慮も必要です。

幼児・子ども

子どもは遊ぶことでストレスを発散させます。いつもと違う環境に適応できずに騒いだりワガママになったりすることもあります。



いつもと違うし
つまらない!

こんな「困った」もあります

ワカラナイ...???

外国人



日本語での情報をきちんと理解できるでしょうか。生活文化の相違や言葉を理解できずに、不安を抱えてしまうかもしれません。

障がい者

発災時に自力で避難できず手助けが必要な場合があります。段差のあるトイレなど、配慮が足りずに使いづらいものも多く、他の人と同じ状況に馴染めないケースもあります。



あそこまで行きたい
んだけど...

性的マイノリティ

プライバシーが守られない環境、トイレ、更衣室、入浴施設など男女別になっているものや、また物資などにも同じような困難を感じています。

どちらも使いづらい...



さまざまな立場の人が抱える問題や、その問題を解決するヒントは、当事者でないとわかりません。誰にとっても安心・安全な防災を考える時には、男性のみならず女性、高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦など、地域で暮らす多様な人々の視点が反映されることが大切です。



防災バッグは1人に1つ!

個人の備えにも「それぞれの視点」を!

妊産婦・乳児

備 おむつ、おしりふき、飲み慣れた粉ミルク、哺乳ビン、ベビーフード、スプーン、抱っこひも、保温グッズなど

ベビーシューズも忘れずに



ボクの、ワタシのオリジナル防災バッグ

幼児・子ども

リュックを背負える子どもには『自分用』の避難バッグを用意してあげましょう

備 お気に入りのおもちゃや本など、お菓子、靴、アレルギーなどがある場合は特別食など



女性

備 生理用品、携帯用ビデ、基礎化粧品、ヘアゴム、消臭や殺菌効果のあるアロマオイル、気分転換になるお気に入りのハーブティーなど



こんなものも

備 自分のサイズに合った下着など、予備のメガネ、コンタクトレンズ、いつも飲んでいる薬など



高齢者

備 メガネ、入れ歯洗浄剤、折畳式杖、介護用おむつなど



誰にでも必要な「基本の」備え

～防災バッグは3種類に分けて用意しましょう～

★まとめておきたい大切なもの

健康保険証やお薬手帳、母子手帳、年金手帳、預金通帳、印鑑、家族の写真、マイナンバーのわかるものなど



! 下記の本などを参考にして、必要なものを備えておきましょう

安心ストック/ 自宅・勤務先に備蓄



ライフラインが途絶えた時のための備え

飲料水、保存食、衣類、毛布、カセットコンロ、カセットボンベ、石けん、シャンプー、ろうそく、給水用ポリタンク、懐中電灯、乾電池など

非常時の持ち出しバッグ/ すぐに持ち出せるところに



被災した1日のための最低限の備え

飲料水、調理しないで食べられる非常食、ヘルメット、手袋、携帯ラジオ、救急用品、簡易トイレ、ビニールシート、歩きやすい靴など



いつも携帯/ バッグの中に入れて持ち歩く



外出先での被災への備え

チョコや飴・ガムなどの携行食、ハンカチ、ティッシュ、ウェットティッシュ、マスク、ホイッスル、携帯ライト、ポリ袋、小銭など



関連BOOKS!

フィフティ・フィフティで貸し出ししています

anan特別編集 女性のための 防災BOOK (株)マガジンハウス

男女共同参画の視点で実践する災害対策 テキスト 災害とジェンダー<基礎編> 東日本大震災女性支援ネットワーク

災害支援に女性の視点を 竹信三恵子・赤石千衣子編 / (株)岩波書店(岩波ブックレット)

災害時に役立つサバイバル術を楽しく学ぶ 防災ビクニックが子どもを守る! MAMA-PLUG編・著 / (株)KADOKAWA

被災ママ812人が作った 子連れ防災手帖 つながる.Com編 / (株)メディアファクトリー

3.11後を生きる シングルマザーたちの体験を聞く NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ



フィフティ・フィフティで閲覧できます

男女共同参画・多様性配慮の視点で学ぶ 防災ワークブック 減災と男女共同参画 研修推進センター

仙台版防災ワークショップ みんなのための避難所作り (公財)せんだい男女共同参画財団

災害支援にジェンダーの視点を! こんな支援が欲しかった!

現場に学ぶ、女性と多様なニーズに配慮した 災害支援事例集 東日本大震災女性支援ネットワーク



フィフティ・フィフティで閲覧 および それぞれのサイトからダウンロードできます

男女共同参画の視点で作る防災

ひとり暮らしの女性のための防災BOOK 川崎市男女共同参画センター (<http://www.scrum21.or.jp/?p=9024>)

女性の視点で作った防災手帖 シニア版 川崎市男女共同参画センター (<http://www.scrum21.or.jp/?p=8838>)

子どものいのちを守るママになる

防災ママブック Stand for mothers (<http://sfma.jp/2016/yarimasuproject/bousaimamabook-koukai/>)



東久留米市防災防犯課からのお知らせ

地域の防災 こんなところから始めてみよう！



「東京防災」を読んで一人ひとりの防災力をみがく

昨年、東京都から無料配布された黄色い冊子「東京防災」。皆さんはお読みになったでしょうか。「大災害シミュレーション」「今やろう 防災アクション」など、防災に関する知識や対策などがイラスト入りでわかりやすくまとめられています。



「もしもマニュアル」では、水道水の保存方法、簡易トイレの作り方、ロープの結び方、ランタンの作り方など、災害を生き抜くための思わずやってみたくなる知恵が満載です。

●「東京防災」は電子ブックでも配布されています。
電子書店一覧
<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/1002147/1002317/1002546.html>

ご参加ください地域の避難所訓練へ



市では、災害時の避難所として、市内25か所の小中学校などを指定しています。いま、地域の皆さん(主に自治会や自主防災組織)が主体となり、災害が起きたときの円滑な避難所運営の方法や、市民同士の連携を地域で話し合う動きが広がっています。多くは「避難所連絡会」として、日頃から定期的に話し合いなどを行うなど、災害時に顔の見える関係がつけられつつあります。

また、学校、消防、市などとも協働しながら、避難所単位で実際に訓練を実施しているところも増えてきました。ぜひ、お住まいの地域の避難所訓練に足を運んでみてください。

10月16日(日)滝山公園で総合防災訓練を実施します

市では、多摩直下型地震の発生を想定した総合防災訓練を10月に滝山公園で実施します。これは災害時に消防、警察等の防災関係機関、団体と連携した災害対応を訓練する総合防災訓練です。

避難誘導や、道路啓開、給水、救出救護訓練などを実施します。

また、この訓練は市民の参加・体験型の訓練として、煙体験ハウス、特殊車両の展示、防災の啓発エリアなどもあります。



*道路の障害物を取り除き、緊急輸送ルートを確保すること。

指定緊急(いっとき)避難場所一覧

“いざ!”というとき、どこへ避難すれば良いの知っていますか? 普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

施設名	所在地
大 門 中 学 校	大門町2-13-8
柳 泉 園 組 合 グ ラ ウ ン ド	下里4-3-10
滝 山 公 園	滝山2-4
不 動 橋 広 場	浅間町1-1
小 山 台 遺 跡 公 園	小山1-10
下 里 本 邑 遺 跡 公 園	野火止3-3
浄 牧 院 ・ 新 川 第 2 広 場	大門町1-3-4
六 仙 公 園	中央町3
第 一 小 学 校	中央町6-8-1
第 二 小 学 校	新川町1-14-6
第 三 小 学 校	中央町1-16-1
第 五 小 学 校	南沢4-6-1
第 六 小 学 校	金山町1-17-1
第 七 小 学 校	滝山7-26-30
第 九 小 学 校	滝山3-2-30
第 十 小 学 校	柳窪5-9-43
小 山 小 学 校	小山5-5-4
神 宝 小 学 校	神宝町1-6-7
南 町 小 学 校	南町3-2-23
本 村 小 学 校	野火止3-5-1
下 里 小 学 校	下里3-11-25
東 中 学 校	上の原2-1-40
西 中 学 校	滝山2-3-23
南 中 学 校	学園町2-1-23
下 里 中 学 校	下里3-21-1
中 央 中 学 校	中央町5-7-65
東京ドームスポーツセンター東久留米	大門町2-14-37
都立東久留米総合高等学校	幸町5-8-46
都立久留米西高等学校	野火止2-1-44
自 由 学 園	学園町1-8-15
クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン	新川町1-2-14
学芸大学附属特別支援学校	氷川台1-6-1

●災害時の状況や避難経路等によって安全な避難場所へ避難してください。詳しくは防災マップなどでご覧いただけます。



午前9時から(11時半ごろまで)参加ご希望の方は、当日、直接会場へお越しください。
※詳しくは「広報ひがしくろめ」
9月1日号/9月15日号をご覧ください

防災に関するお問い合わせは
環境安全部防災防犯課 ☎042-470-7769 (直通)

このコーナーでは、フィフティ・フィフティの所蔵書籍、主催講座・講演会などを紹介しています。

書籍紹介



「あの日」

小保方晴子 著
講談社 / 2016年 / 258頁

フィフティ・フィフティでは、男女共同参画に関する、約1,500冊の本を所蔵しています。その中から今回はこの1冊をご紹介します。

この本は、既に多く語られている「あの日」のことを、当事者として書き記してある。最先端施設を備え、超エリートが集まる最高峰の研究機関の闇の部分、垣間見せてくれる。研究所の内部で、おぞましい争いが繰り広げられていたとは、未だ信じたくない。

前半では、聞きなれない専門用語や名前が出てくるので、馴染みにくい点もあるが、後半、著者に対するバッシングや、彼女の上司に対する執拗ないやがらせ、そして関係者のあからさまな責任回避の動きを思わせるシーンが次々と出てきて、思わずひきこまれる。

一方、スケープゴートにされ、日に日に追い詰められていく

著者の様子は、読んでいて胸が苦しくなる。マスコミの行動もいろいろと問題があると書かれている。リーク元不明の、ウラの取れない個人情報もナマで公表される恐ろしさが、強く迫ってくる。

著者の声は無視され、一般の人々には届かない。今迄、仲間と思っていた人たちが、敵となっていき恐怖と絶望感。著者の神経は確実にすり減っていく。疑わしきは罰せよとばかり集中砲火を浴びせる多くのマスコミ。視聴率の魔物が人権を呑み込んでいく恐ろしさ。真実はどこにあるのか。誰が真実を伝えているのか。

一連の出来事を読んで、日本の研究者の将来が心配になってきた。日本の将来を動かすであろう、若き研究者を育む環境は、このままでよいのだろうか。研究に集中できる環境と言えるのだろうか。全ての研究所が、このような状態である筈はないし、あって欲しくない。ポロポロにすり減った神経で、これだけの記録を残した著者の気力に敬意を表し、いつか不死鳥のように蘇えることを期待する。

フィフティ・フィフティの蔵書は1人2冊2週間まで貸し出しをしています。東久留米市図書館のHP (<https://www.lib.city.higashikurume.lg.jp/>) で検索できます。ぜひご利用ください。

フィフティ・フィフティ主催講座

●平成28年1月から9月に開催した講座／事業です。

市民企画講座 ストレスを理解し上手につき合う～心と身体が元気になるエンパワメント講座～
<法律・制度を知ろう No. 4>「遺言・相続・成年後見について」 (1) 相続・贈与・遺言の法律知識 (2) 成年後見の法的知識
<ひがしくるめ女性起業・創業支援事業> “起業の種”を見つけよう！木曜コース・土曜コース(各2回)
<ひがしくるめ女性起業・創業支援事業> ミニ交流会 vol.2
市民企画講座 表現力UP入門～自分を大切にすることははじめの一步～
市民企画講座 私のトリセツ作りましょう
<ひがしくるめ女性起業・創業支援事業>女性起業家応援企画(講座と交流会) 聞いてみよう！話してみよう！～起業家お悩み解決セミナー～
子育て中の方向け すぐに実践できる防災講座
アンコールシネマ「ピナ・パウシュ 夢の教室」
男女共同参画週間特別講演 一人ひとりを大切に防災への備え 熊本地震から見てきたこと
市民企画講座 いざという時に自分色レシピ～仕事や生活に活かす色彩心理
<ひがしくるめ女性起業・創業支援事業> たまには少し自分時間 ワタらしいライフスタイル探し(全2回)
<ひがしくるめ女性起業・創業支援事業>交流会 地域で起業～自分らしく働きたい～
シネマdeおしゃべり「ガールズ★ロック！」
東久留米市・自由学園最高学部共催<学生企画> デンマークの便利～学生が見た男女平等・福祉・教育の現在～
COOL SHARE 「夏休みの学習室」(7～8月、日時限定)
市民企画講座 はかる、知る、くらす。～放射能の心配に科学的に向き合うために

●これから開催する予定の講座／事業です。

シンママ(シングルマザー)応援講座～お金の話 10月22日(土) 14:00～16:00
市民企画講座 両立ママのための時短料理講座～家族も自分もハッピーに～ 10月27日(木) 10:00～12:00
<DV週間> 講座&シネマ他 これってモラハラ？(仮題) 11月18日(金) 10:00～12:00
アンコールシネマ「ヤコブへの手紙」 11月19日(土) 10:00～12:00
<ひがしくるめ女性起業・創業支援事業> はじめの一步。女性起業セミナー 12～1月開催予定(全4回)
働く女性の応援と男性の働き方改革(仮題) 日時未定
市民企画講座 若者のイマと私たちのコレカラ～誰もが暮らしやすい社会って？～(仮題) 1～2月開催予定
沿線3市男女共同参画連携事業 女性起業応援フェスタ2016 *12ページをご覧ください

<ひがしくるめ女性起業・創業支援事業>
東久留米市では独自に、平成27年度から地域で自分らしく仕事がしたい方を応援する<ひがしくるめ女性起業・創業支援事業>をスタートしています。これまで当たり前だった「雇われる働き方」に代わって、「起業」という働き方が注目されています。起業を考えている方、既に起業されている方向けに講座、交流会、相談会を開催しています。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

フィフティ・フィフティの講座情報は……

広報ひがしくるめや市のホームページでお知らせしているほか、メールでも配信しています。配信をご希望の方は、下記メールアドレス宛てに、件名に「メール配信希望」と記載の上、お名前とメールアドレスをご連絡ください。

fiftyfifty@higashikurume-city.jp





フィフティ²(フィフティ・フィフティ)は、東久留米市男女平等推進センターの愛称です。



平成28年度 沿線3市男女共同参画連携事業 女性起業応援フェスタ 2016 わたしのワークライフバランス



平成27年度に引き続き、今年度も西武池袋線沿線の隣接3市(清瀬市、東久留米市、西東京市)による沿線3市男女共同参画連携事業を行っています。平成28年度の事業テーマは「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」です。

働く時間や場所などに制限がある人がワーク・ライフ・バランスを叶えながら、自分らしく働く一つの形として「起業」があります。今年度は、そんな女性たちを応援する「女性起業応援フェスタ2016 わたしのワークライフバランス」を開催します。

私たちの周りで活躍する、輝く女性たちの素敵な「しごと」に出会えるチャンスです。ぜひご来場ください!!

女性起業応援フェスタ 2016	
西東京市	日時:10月30日(日) 11:00 ~ 15:30 会場:西東京市男女平等推進センター パリテ (起業入門講座同日開催 16:00 ~ 18:00) *詳細は広報ひがしくるめ10月1日号に掲載予定
清瀬市	日時:11月27日(日) 11:00 ~ 16:00 会場:清瀬市男女共同参画センター アイレック *詳細は広報ひがしくるめ10月15日号に掲載予定

*東久留米市では平成29年1月に女性起業家を対象とした交流会やフォローアップ講座を開催予定です

(この事業は、多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用しています)

フィフティ・フィフティ 男女共同参画週間展示 ジェンダー平等に向けて「HeForShe」キャンペーン

毎年6月23日から29日は男女共同参画週間です。フィフティ・フィフティでは今年の週間に、UN Womenによるジェンダー平等に向けた取り組みHeForSheキャンペーンに関する展示をしました。



センターで映像を上映スタートしました。その発表の際にはUN Womenの親善大使である女優エマ・ワトソンさんが国連スピーチを行い、世界中の注目を集めました。

フィフティ・フィフティでは展示にあわせて、このスピーチ映像も上映しました。

HeForSheキャンペーンは、まだまだ続いています。すべての人にとって差別のないジェンダー平等な社会を実現するためには、皆さんの、あなたの賛同の声が大きな力になります。ぜひご参加ください!

HeForSheキャンペーンとは...

ジェンダー平等に対する取り組みは、かつては、女性だけによる女性のためのものとして認識されてきました。しかし、最近では、女性や女兒が直面している不平等や差別に対して、男性が立ち上がり始めています。この機運をさらに高め、すべての人々によってジェンダー平等を達成するために、UN Womenは、HeForSheキャンペーンを立ち上げました。世界中で女性たちが



スピーチするエマ・ワトソン
Photo: UN Women

が直面する根強い不平等を終わらせるために、HeForSheキャンペーンは10億人の男性と男児たちを動かし、ジェンダー平等への変化の主体となってもらうことを企図しています。2016年1月にキャンペーンはリニューアルされ、男性だけでなく女性も、すべての人が参加できるようになりました。

*UN Womenは「ジェンダー平等と女性エンパワメントのための国連機関」です。HeForSheキャンペーンについての詳細はUN Women日本事務所のウェブページでご覧いただけます。
<http://japan.unwomen.org/ja/news-and-events/in-focus/heforshe>

■専門相談のご案内

相談無料 秘密厳守

女性問題に理解が深い女性弁護士や専門のカウンセラーが悩み解決のお手伝いをします。相談してみることで、一人では気づかなかった解決法が見つかるかもしれません。年間170件を超える相談を実施しています。

*どちらの相談も1日3名までの予約制(先着順)です。
詳しくはフィフティ・フィフティへお問い合わせください。

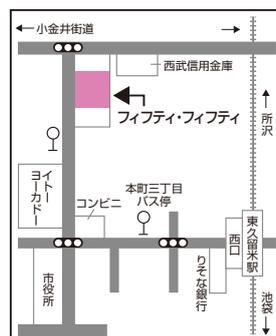
専門相談予定表 (相談日/相談時間)						
	女性弁護士による法律相談	女性の悩みごと相談				
		9:30 ~ 12:30	10:00 ~ 13:00	13:30 ~ 16:30		
10月	7日(金)	3日(月)	13日(木)	17日(月)	24日(月)	31日(月)
11月	4日(金)	7日(月)	14日(月)	21日(月)	28日(月)	
12月	2日(金)	5日(月)	12日(月)	19日(月)	26日(月)	
1月	6日(金)	16日(月)	12日(木)	23日(月)	30日(月)	
2月	3日(金)	6日(月)	13日(月)	20日(月)	27日(月)	
3月	3日(金)	6日(月)	13日(月)	24日(金)	27日(月)	

フィフティ・フィフティ(男女平等推進センター)

をご利用ください。

■施設案内

交流ロビー
参考図書・資料コーナー
会議室・保育コーナー
会議室は貸し出しをしています。
(有料・要予約)
使用申請は、使用日の2カ月前の初日から使用前日まで



■所在地

東久留米市本町3-9-1-102
TEL (042) 472-0061
FAX (042) 472-0053
メール fifty2@higashikurume-city.jp



開館時間/月、水～日曜日 午前9時から午後9時30分
(但し、午後7時30分以降の会議室利用がない場合は、午後7時30分まで)
休館日/毎週火曜日と年末年始(12月29日～1月3日)

「ときめき」は、年2回発行。公募の市民による編集委員6人が企画編集しています。内容についてのご意見・ご感想は市民部生活文化課、またはフィフティ・フィフティ宛にお寄せください。

●表紙/東久留米駅西口広場(彫刻モニュメント「my sky hole94-樹の情景」井上武吉 作)

「ときめき」はフィフティ・フィフティ、市役所、東久留米駅、図書館および生涯学習センターほか、市内各所で入手できます。最新号とバックナンバーは市のHPでもご覧いただけます。

